

会場 第4会場 函館アリーナ 2階『サブアリーナ』

総会初日「特別講談1」と二日目「特別講談2」は、近代日本の夜明けを告げることになる、明治新政府軍と旧幕府軍による戊辰戦争の最後の戦いの地となった函館にちなみ、今でも根強い人気のある土方歳三と榎本武揚にまつわる演目となっております。

三日目「特別講談3」は、若干21歳で津軽海峡を単独で泳いで横断した中島正一の無謀とも思える挑戦と情熱をお伝えする演目となっております。



土方歳三

7月12日(水)

10:55 ~ 11:25



榎本武揚伝

7月13日(木)

11:20 ~ 11:50



中島正一伝

7月14日(金)

11:35 ~ 12:05

函館の講釈師

荒剱夢形

こうどうむけい

略歴 1960年(昭和35)年3月24日秋田生まれ。
主に東京で育つ、二松学舎大学文学部中国文学科(日本漢文学専攻)卒業、
早稲田大学国語国文学専攻(元教育学部大学院)主終了。
興津要・青山忠一に師事して近世戯作を学ぶ。
1986年北海道へ。室蘭清水ヶ丘・美幌・函館東(現市立函館)、
釧路北陽の各高校で教員を勤めた後、定年前に退職。
2002年神田愛山主宰講談作家教室終了。
2003年初高座。函館在住の噺家・東家夢助の門下となり、
地域に根差した人物や歴史を講談にして世に問う活動を始める。
道南落語倶楽部副会長。

